

## 逆引き Joomla Cache

<https://www.joomlart.com/tutorials/joomla-tutorials/joomla-cache-from-inside-out>

Joomla Cache の定義から始めましょう。「Web ページ (の一部) の保存ビューをユーザーに提供するメカニズムで、データベースから引き出す必要はありません。 Joomla コアは、**ページキャッシュ**、**ビューキャッシュ**、**モジュールキャッシュ**の 3 つのレベルのキャッシュを提供します。デフォルトでは、Joomla は何らコンテンツをキャッシュしません。キャッシュがオンになっている場合、保存されたビューは Joomla ../cache/page/ folder のファイルシステムに保存されます。 (情報源 : Joomla Glossary)

### Joomla のキャッシュ設定

これらの 3 つの設定に誰でもアクセスできます。

1. グローバル設定 : 積極的な (プログレッシブ) / 保守的なキャッシュ
2. システムプラグイン : ページキャッシュ/ブラウザキャッシュ
3. すべてのモジュールに対するモジュールレベルキャッシュ

### 留意すべき点

- Joomla は動的にコンテンツを生成します。キャッシュを有効にすると、キャッシュされたコンテンツと同じものはすべてキャッシュされます。
- ログインしたユーザーは、権限またはアクティビティに基づいてユーザー固有のコンテンツを生成することをシステムに要求するので、キャッシュはログインしたユーザーには適用されません。
- 動的コンテンツをレンダリングするモジュールは、キャッシュされるべきではありません。
- サイト開発中はキャッシュをオフにしてください。
- システムキャッシュプラグインは、グローバル構成の設定よりも優先されます。

### 1. ページキャッシュ

Joomla ではデフォルトで**オフ**になっています。一度有効にすると、サイトのレンダリングされたページのコピーのキャッシュを開始し、次のリクエストでキャッシュされたページがデータベースクエリをバイパスして表示されます。これはサイト訪問者に対してのみ機能し、ログインしたユーザーにはキャッシュされたページが提供されないことを忘れないでください。

このキャッシュを有効にするには :

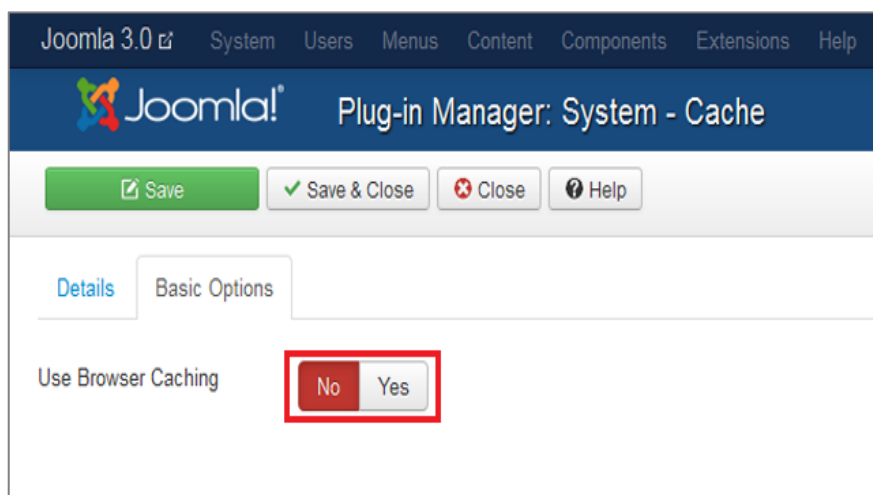
- Joomla 管理者にログインします
- トップメニューからエクステンション>>プラグイン管理に移動します
- フィルターボックスで「キャッシュ」を検索します。
- システム-キャッシュプラグイン>> このプラグインをアクティブにします、
- システム-キャッシュプラグイン>> 基本情報の「ブラウザキャッシュを使用」オプションを

有効/無効にします



### 1a. ブラウザーのキャッシュ

有効にすると、ページがブラウザーにキャッシュされている場合、サイトは「304 not modified」ヘッダーをブラウザーに送信するため、サーバーは特定のブラウジングセッションでユーザーにページを再度レンダリングする必要がありません。



### 2. ビューのキャッシュとモジュールのキャッシュ

ページのキャッシュとは異なり、ビューおよびモジュールのキャッシュはページの一部のみをキャッシュします。ビューとモジュールのキャッシュを構成するには、グローバル設定に移動し、以下の手順に従います。

- Joomla 管理者にログインします
- グローバル設定 >>システムに移動します
- キャッシュ設定セクションを見つけます
- 「キャッシュ」を「オン・控えめな (Conservative) キャッシュ」または「オン・積極的な

(Progressive) でキャッシュ」(この2つの違いはあとで説明します)

- ・「キャッシュハンドラー」をサーバーにインストールされているキャッシングソフトウェアに設定します(ここでは「ファイル」を使用します)
- ・「キャッシュ時間」をキャッシュ間の希望の期間(分単位)に設定します(たとえば15)
- ・[保存して閉じる]をクリック



### プログレッシブまたは保守的なキャッシング

プログレッシブキャッシングは、それぞれユニークなビジターのコンテンツをキャッシュしますが、コンサーバティブキャッシングはすべてのビジターに同じキャッシュコンテンツを配信します。モジュールに静的コンテンツがある場合はプログレッシブキャッシュを使用し、そうでない場合は保守的なキャッシュを選択します。

(訳者注: 静的コンテンツと動的コンテンツとは、  
<http://juen-cs.dl.juen.ac.jp/html/www/005/> )

### キャッシュのライフタイム

これは、ページのコピーが新しいものに置き換えられる前に保存される期間です。この時間設定は、コンテンツの更新頻度によって異なります。ページに新しいコンテンツが数分ごとに投稿される場合は、この時間を低く設定し、逆も同様です。

## 3. モジュールキャッシュ

静的コンテンツのみを含むモジュールのモジュールキャッシュを有効にしてから、保守的なキャッシュで適切に機能するようにします。動的コンテンツを含むモジュールはキャッシュしないでください。

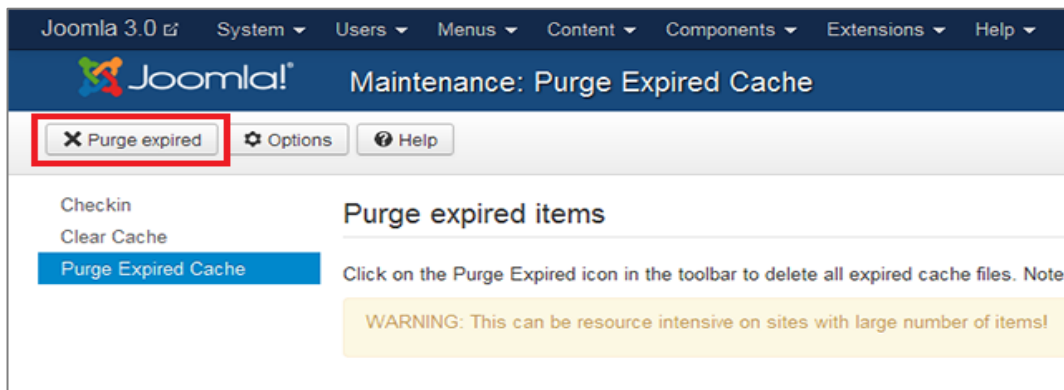
### 期限切れのキャッシュを削除

キャッシュを有効にすると、キャッシュファイルがディスクに保存されます。サーバーのパフォーマンスを向上させるには、期限切れのキャッシュファイルを削除する必要があります。

Joomla 3 で期限切れのキャッシュを削除するには:

- ・ Joomla 管理者にログインします

- ・トップメニューから システム >> 期限切れキャッシュの消去 に移動します。
- ・Joomla 3 で期限切れのキャッシュをパージするには、左上のメニューの「期限切れのページ」アイコンをクリックします。



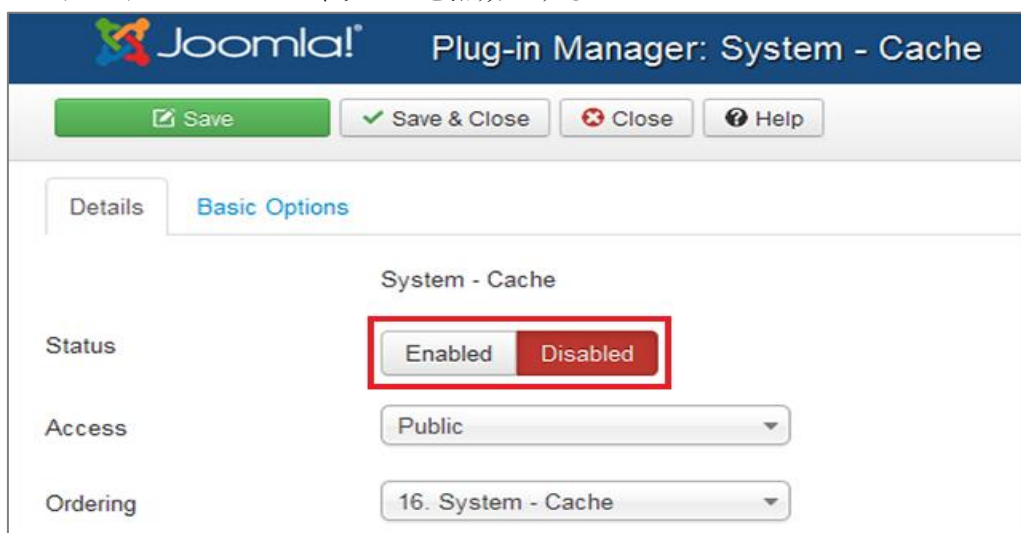
「期限切れのキャッシュを消去する」とは、すべてのキャッシュファイルが削除されるわけではなく、指定された時間以前のキャッシュファイルだけが消去されます。これはかなり長いリソースを消費するプロセスであり、Joomla サーバーの負荷が少ないときにのみ実装することをお勧めします。

### キャッシュをオフにする

キャッシュは、既にキャッシュされたページを訪問者に配信することで、サイトの読み込みを高速化できることは事実です。ただし、サイトの開発中に、キャッシュを無効にして、変更をすぐに確認できるようにすることは検討すべきことです。

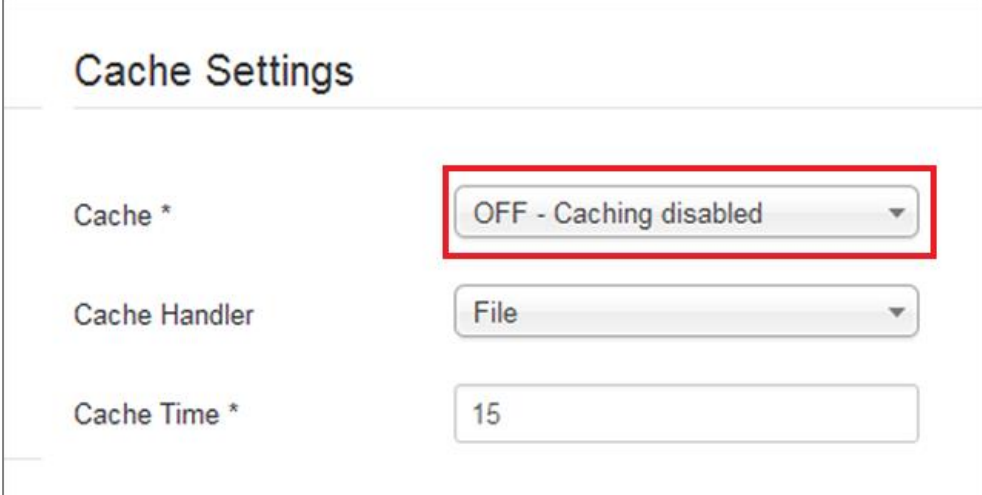
ページキャッシュを無効にするには：

- ・Joomla Administrator にログインします
- ・メニューからエクステンション>>プラグインマネージャー>>システムキャッシュに移動
- ・プラグインシステムキャッシュを無効にする



ビューのキャッシュとモジュールのキャッシュを無効にするには：

- Joomla 管理者にログインします
- グローバル設定 >> システムに移動します
- キャッシュ設定の下で、キャッシュを「オフ・キャッシュ無効」に変更します
- 「保存して閉じる」をクリック

A screenshot of the Joomla! administration interface showing the 'Cache Settings' configuration page. The page has a title 'Cache Settings' at the top. Below the title, there are three settings: 'Cache \*' is set to 'OFF - Caching disabled' (highlighted with a red box), 'Cache Handler' is set to 'File', and 'Cache Time \*' is set to '15'.

Cache Settings	
Cache *	OFF - Caching disabled
Cache Handler	File
Cache Time *	15

本日のチュートリアルをお楽しみいただき、今後のトピックにご期待ください。

参考文献：

- キャッシュ改善のための Joomla 拡張

<https://extensions.joomla.org/extensions/core-enhancements/performance/cache/>

- T3 キャッシュ

- Joomla 2.5 のグローバルモジュールキャッシュについて

<https://www.inmotionhosting.com/support/edu/drupal-7/caching/global-module-caching>

- Joomla の圧縮とキャッシングの包括的なガイド

<https://www.cloudaccess.net/joomla-3-0/108-maintenance/691-a-comprehensive-guide-to-joomla-compression-and-caching.html#a4>

以上